



上海便り

上海日本人学校
浦東校
H24 年度派遣
横山 由佳
平成26年7月



上海にきて3年目の夏を迎えました。毎年春が短くあっという間に暑くなる上海ですが、今年は雨の日が多かったり、風があり涼しい日が多かったりしていました。7月中旬になり、ようやく夏らしい天候になってきました。暑いです。

上海日本人学校浦東校は、今年度第3期校舎が完成しました。各学年の教室に加え、中国語や英会話の授業をする教室が増え、以前より語学の授業が少人数で行えるようになりました。全校の児童・生徒が集まり、5月13日に完成記念式が行われました。お祝いの和太鼓や獅子舞が披露されたり、代表児童があいさつをしたりと、新校舎の完成を喜びました。



新しく増築された
第3期校舎

上海の街の様子

3年目になり、中国の生活にも慣れてきました。今回は、日々発展を続けている上海の街の様子を紹介したいと思います。近代的な場所と昔ながらの様子の場所と混在している街です。



上海日本人学校
浦東校

学校の周りには高層
マンションがたくさん
あります。



学校のある浦東新区の高層ビル群



1990年代より開発が進み、各国の金融機関やホテル、国際会議場などが集まる国際的な街です。有名な建物として東方明珠塔、上海環球金融中心（森ビル）などがあります。現在は上海タワーが建設されており今年完成予定です。完成すると、高さ632メートル、階数は128で、世界でもブルジュ・ハリファ(828m)、東京スカイツリー(634m)に次ぐ高さの超高層建築物となります。

古くから残る建物（外灘）



外灘にある西洋風の建物は、昔、上海に住んでいた外国人によって建てられました。中には100年以上前に建てられたものもあります。1996年には、国は全国重点文物保护单位としてさだめ、国の文化財として保存する取り決めをしました。

古くから残る建物（豫園）



昔、「東南地方のすばらしい庭園」と言われた庭で、全国重点文物保护单位として指定されています。明時代に建てられ、布政使という役人が住み、400年の歴史があります。



多くのビルが建ち近代的な街並みがある一方で、家から道の方へ突き出して干された洗濯物や、路上での屋台や露店など、昔からの生活の様子も多く見られます。

紹介したのは上海の中のほんの一部ですが、様々な人が住み、日々変化しているとてもおもしろい街です。新しさと古さが混在し、驚きが多い街でもあります。